

第 67 回 九州経済同友会大会アピール

‘失われた 20 年’と言われるように、我が国の経済は 1990 年代後半以降、長期低迷を続けてきた。中国やロシア等の新興国は無論のこと、欧米の先進諸国と比較しても、経済成長は際立って低い水準にとどまっている。九州経済も例外ではなく、かつては先進国一国並みの規模を誇っていたが、今や中進国程度の水準にまで地盤沈下している。

一方、企業を取り巻く環境をみると、ビッグデータを活用した人工知能や IoT、ロボティクスなどの急速な普及により、「第 4 次産業革命」「Society5.0」と呼ばれる社会変革が訪れようとしている。この新たな波に乗り遅れば、さらなる企業活動と地域の衰退につながりかねない。

過去を振り返り、将来を見据えると、九州の企業は何よりもイノベーションに果敢に取り組むことが求められる。先端技術を迅速に取り入れ、付加価値の高い斬新な商品開発を推し進め、チャレンジ精神に溢れる企業風土を醸成するなど、あらゆる分野にわたって改革を進めなければならない。

我々経済人は、自ら先頭に立ってイノベーションを牽引する必要がある。将来を見通した戦略を構築した上で、過去の成功体験に縛られず、ビジネスモデルを大胆に変える覚悟が求められる。現場から上がってきたアイデアを汲み取り、社員には変革に立ち向かう勇気を持たせ、組織を活性化しなければならない。

加えて、世界との競争に打ち勝つためには、先端技術や斬新なアイデア等をいち早く取り込まなければならない。ベンチャー企業を含めた企業や大学などと協働し、オープンイノベーションに取り組む必要がある。

本日の九州経済同友会大会の討議を踏まえ、我々は、滞りがちな九州・日本経済の歩みを自らの手で力強く前進させるとの気概を持ち、イノベーションに積極果敢に取り組むことを宣言する。

平成 30 年 11 月 21 日

九州経済同友会

代表委員 貫 正義

代表委員 淵辺 美紀

福岡経済同友会

佐賀経済同友会

長崎経済同友会

熊本経済同友会

大分経済同友会

宮崎経済同友会

鹿児島経済同友会

沖縄経済同友会